



①司会から 東部学園石橋専門員（1班石橋幹事）



②講義 縄文海進 パワーポイントで講義（田村副理事長）

映像でめぐる東部地区のあゆみ <ゆうゆう大学東部学園講座> レジメ

2021.05.12/9:30～ 11:30 講師 田村哲三

1、縄文時代

貝塚(清瀧院前貝塚、宮の脇貝塚、前ヶ崎石神貝塚、市内の貝塚約30)

縄文時代、今の低地部分は海だった(縄文海進) 縄文人の生活

2、奈良時代

名都借の地名伝説・諏訪神社(高市皇子→長屋王→高市一族→名都借→駒木)

3、戦国時代 前ヶ崎の戦い

[前ヶ崎城落城 大田六郎殿打死同戸張彦次郎殿打死](1478年11月3日、本土寺過去帳)

鎌倉公方(のち古河公方)足利氏× 関東管領上杉氏 千葉本家× 千葉庶家(馬加氏)

太田道灌× 千葉教胤(前ヶ崎城の戦い、境井根原合戦) 首塚、胴塚(光が丘団地内)

戦国時代 名都借城の戦い

古河公方× 小弓公方(古河公方の内紛) 小弓公方× 高城氏、原氏

小弓公方× 梁田氏(関宿) 梁田氏の水軍が名都借城を攻める

高城氏小金城ができると、前ヶ崎城、名都借城は傘下に入る。豊臣秀吉の小田原攻めで廃城

(1590年5月5日)広寿寺は1562年、小金城主2代目高城胤辰(たねとき)の開基

4、江戸時代

小金牧(野馬奉行と牧士)

野馬奉行 綿貫政家の話 月見里(やまなし)から綿貫へ

向小金新田の開発 向小金香取神社と水戸街道。1里塚 新木戸と旧木戸

5、明治以降

県の誕生と移り変わり

宝蔵院本堂で前ヶ崎小学校が開校 生徒 男39人、女8人、計47人、

授業料35銭(約7000円) 先生1人(植村蜜蔵) 入学は6歳から12歳まで 4年制

当時は子どもも働き手だったので、卒業する生徒は少なかった。

明治29年、土浦線(常磐線)開通 初めは柏駅、次に明治44年、北小金駅で乗車

市内では1番便利になった

明治の市町村制と合併(明治22年、42の村が八木村、流山町、新川村の3町村に)

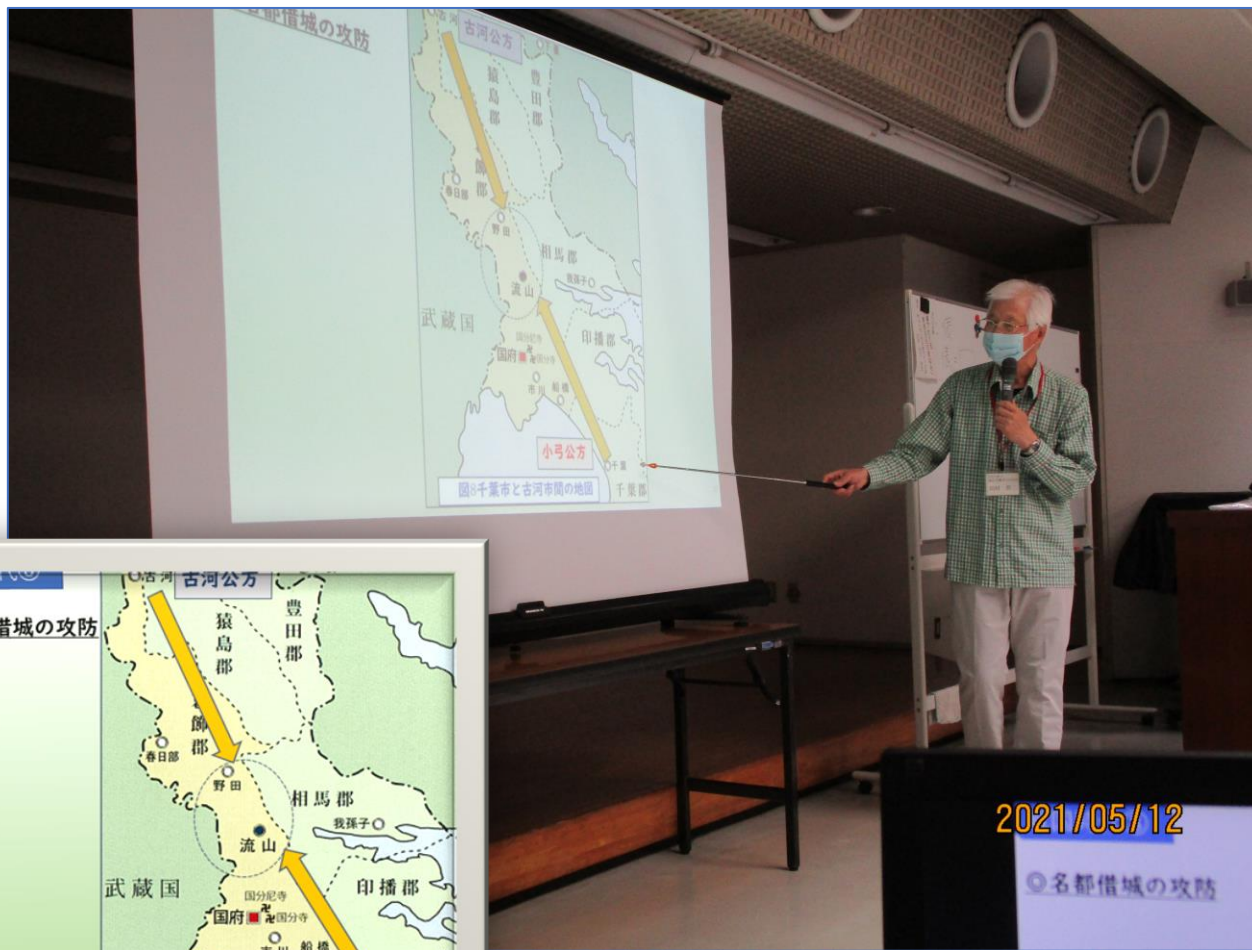
昭和の合併(小金町と合併を主張した東部地区、北部では野田との合併案も)

昭和26年4月、流山町、八木村、新川村が合併江戸川町に、翌年1月、流山町に

昭和31年、松が丘団地が分譲開始

昭和42年、流山市

< 以上 >



③講義 古河公方VS小弓公方
 パワーポイントで講義 (田村副理事長)



④密を避け分散着座して熱心に受講 受講生 (31名)



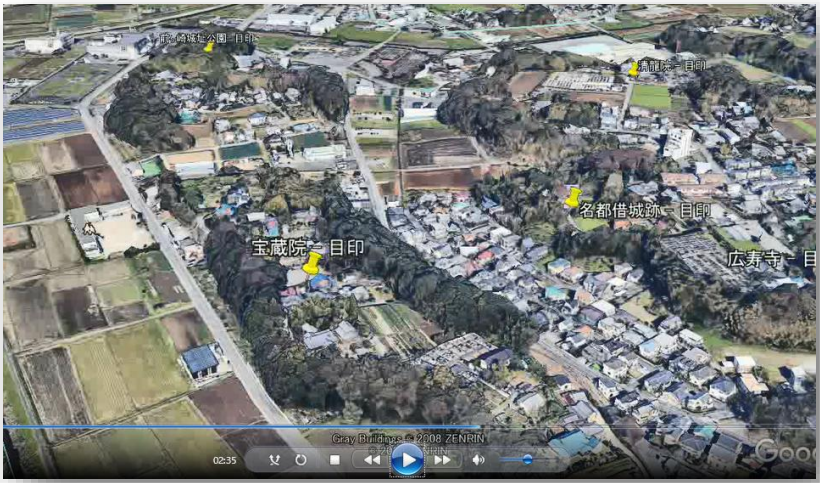
米俵と駄馬



⑤講義 ホワイトボードとパワーポイントで講義 (田村副理事長)



⑥受講生



休憩時間を利用した東部3地区の史跡等の空撮動画 (グーグルアース)



⑦受講生

*各受講生の写真は、ガイドの会内限り掲載